



### 高知龍馬空港初、空港内作業車両で バイオディーゼル燃料「B100燃料」を導入します

JALは、CO2排出量削減への取り組みの一環として、2024年2月1日より、高知龍馬空港配備の空港内作業車両であるトーイングトラクター(\*)に、バイオディーゼル燃料濃度100%の「B100燃料」を導入します。

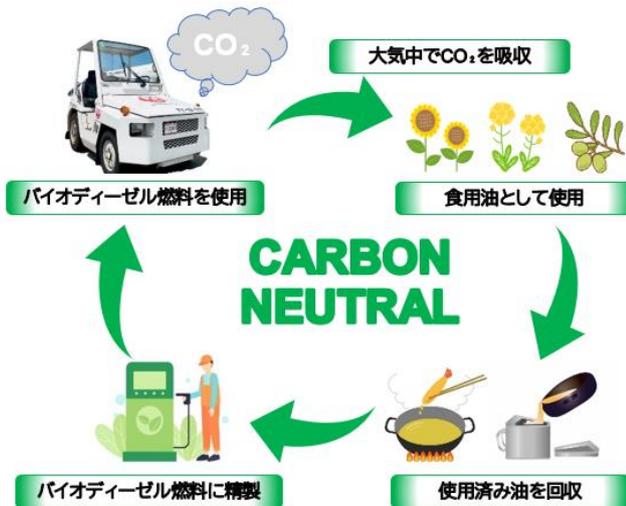
(\*) 空港制限区域内にて航空貨物やお客さまの手荷物の運送用コンテナを牽引する車両

「バイオディーゼル燃料」は植物由来の廃食用油から精製しており、原料の植物が成長過程でCO2を吸収していることから、ライフサイクルでのCO2排出量を実質ゼロにすることができます。また、家庭や地域の飲食店などで排出される廃食用油などを精製して地域で使用することから、地産地消の循環型エネルギーであり、軽油と比べて1リットル当たり2.62kgのCO2排出量削減の効果が見込めます。

なお、実施にあたっては、株式会社ダイキアクシス・サステナブル・パワー(愛媛県松山市)が「B100燃料」の製造・供給を、入交トラストエナジー株式会社(高知県高知市)が給油を担当します。



トーイングトラクター



バイオディーゼル燃料 (B100燃料)

JALは循環型エネルギーの利用を通じて地域や社会と連携、協働し、「CO2排出量実質ゼロ」実現のために、持続可能なエネルギー利用によるCO2排出量の削減に取り組んでまいります。

【運用開始日】 2024年2月1日(木)～

【対象空港】 高知龍馬空港(高知県南国市久枝乙58)

【対象車両】 高知龍馬空港配備 JALトーイングトラクター 2台

【実験内容】 高純度バイオディーゼル燃料濃度100%の「B100燃料」をトーイングトラクターに使用

以上

